



中高生政策決定参画プロジェクト

政策提案資料

2024.10.29

飯尾 むつは	奥村 心結	小野田 諒太	神山 凜
神保 想叶	末木 花歩	高橋 心花	豊田 英杜
永島 康平	丸山 世楠	毛利 友希乃	吉武 凜

提案までの議論の流れ

<参加メンバーの構成>

計12人（中学生6人、高校生6人）



<これまでの活動状況>

6月9日	第1回（オリエンテーション）	メンバー同士の顔合わせ 「中高生に必要な体験活動」について議論
6～8月	第2回～5回	政策提案の方向性の検討
	第6・7回（企業訪問）	ファイザー、日本マクドナルドで社員の方と意見交換
8月23日	第8回（中間報告会）	東京都職員からフィードバック
9～10月	第9・10回	政策提案に向けた資料作成・リハーサル

➔ **計10回のミーティング**を実施し、政策案を検討

議論テーマについて

＜今回の議論テーマ（中高生へのアンケートで決定）＞

「将来のためになるリアルな体験活動の充実」



中高生は、将来の**進路**について考える重要な時期
進路や将来像を明確にするための**実践的な学習(=体験活動)**が不足



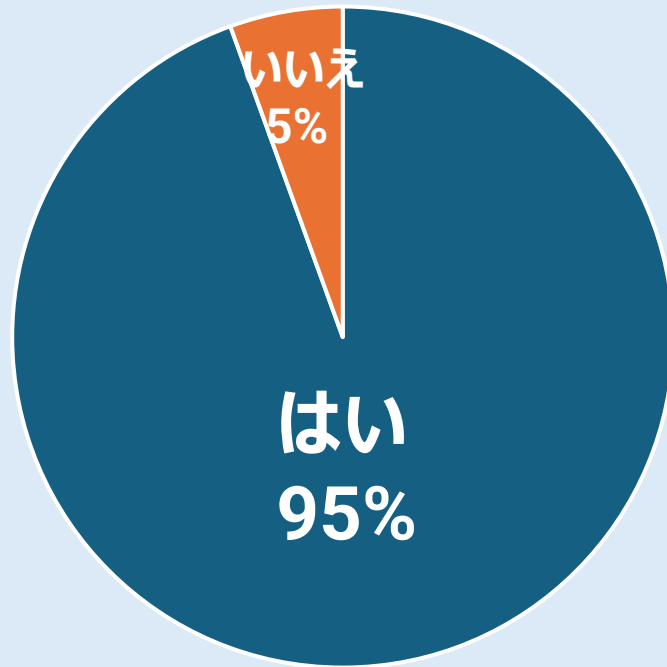
職業体験の充実が必要

職業体験は**直接的に将来に結び付き**、多くの中高生が**進路選択**に生かすことができる

- 調べるなどの表面的なものではなく、**社会人の方々と同じ環境**で体験することができる。
- 興味のある分野の体験を通して、**理想像**を描くことができる。
- 学業だけでなく、**社会で必要とされている能力**を身に付けられる。

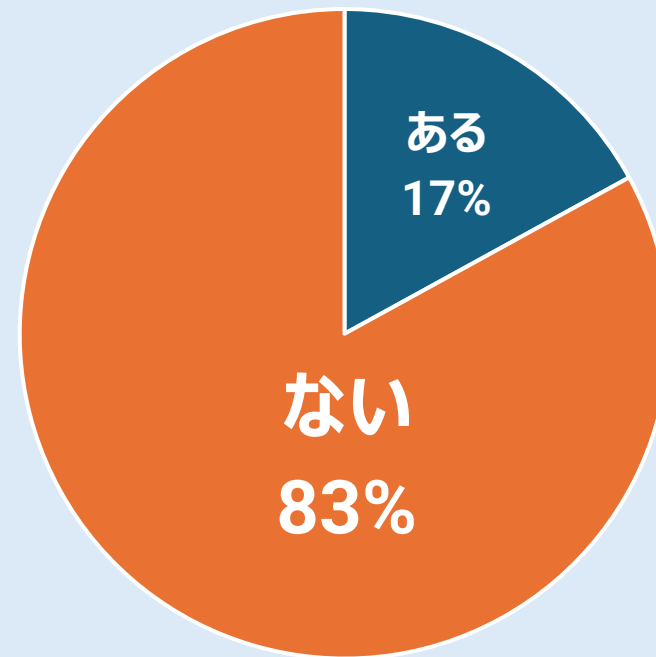
職業体験に関する中高生の声①

職業体験は将来のために必要だと思うか



LINEアンケート 1050名
(都内在学もしくは在住の中高生)

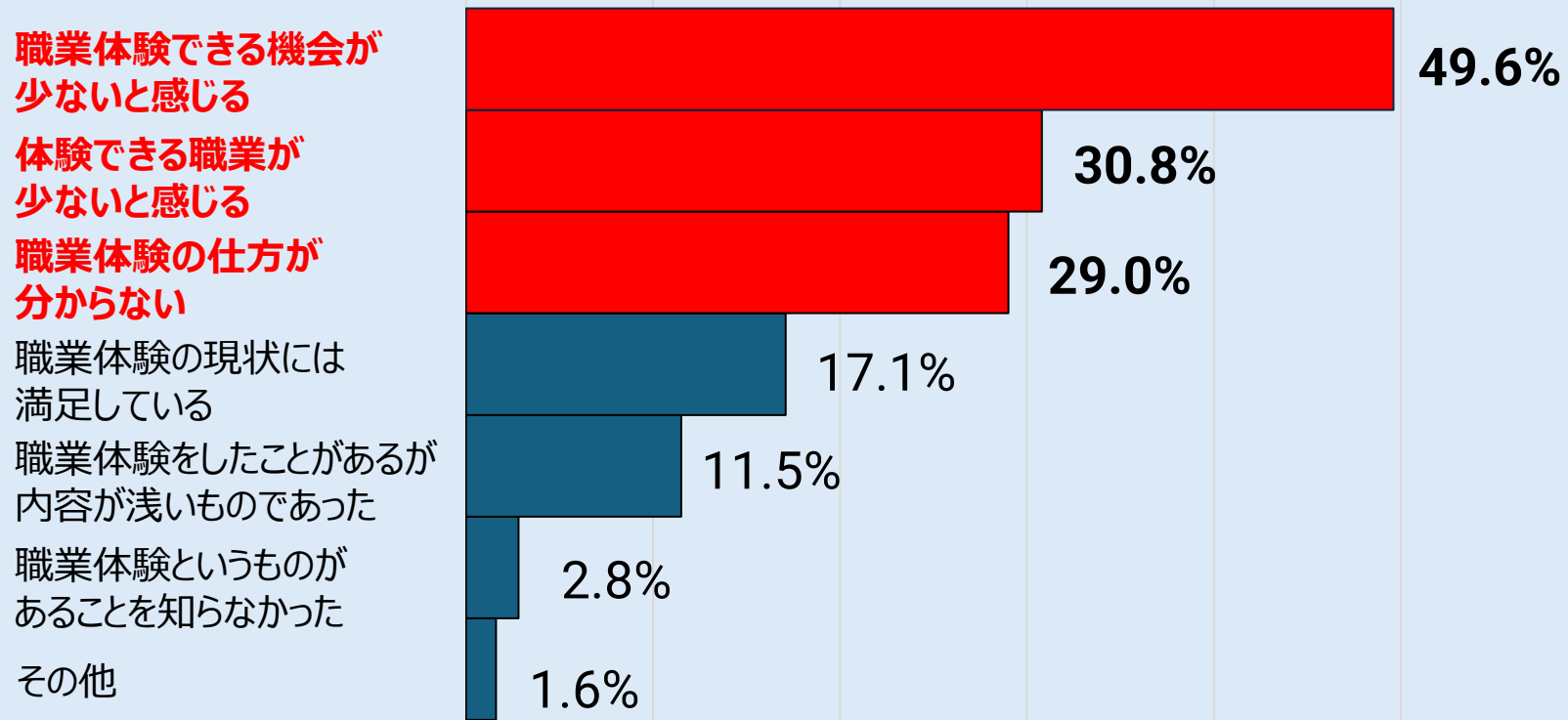
今まで職業体験をしたことがあるか



学校内アンケート 341名
(都内在学もしくは在住の中高生)

職業体験に関する中高生の声②

現在の職業体験に関する認識について



どのような内容の職業体験があるといいか

- ・保育士
- ・消防士
- ・教師
- ・プログラマー
- ・エンジニア
- ・医療機関
- ・介護士
- ・スポーツ系
- ・テレビ関係
- ・アパレル関係
- ・食料品関係
- ・建設業
- など

LINEアンケート 1050名(都内在学もしくは在住の中高生)

学校内アンケート 890名
(都内在学もしくは在住の中高生)

職業体験の問題点と解決策

<現状と問題点>

- ・中高生向けの職業体験が少ない
- ・学校では選択肢が少ない
- ・職業体験についての情報が散乱
- ・見学ベースが多いなどリアルさがない

<職業体験の理想>

中高生が幅広い選択肢から選べる
リアルな職業体験

<解決の方向性>

中高生と職業体験を行う企業とがつながることができる仕組みを構築する
情報を集約することで、個人が幅広い選択肢から選びやすくする

中高生と企業の架け橋となる「職業体験の総合サイト」を整備する

総合サイトについて

<概要>

利用者：東京都の中高生

内 容：様々な企業の職業体験の情報が掲載されている

→興味のある体験プログラムを検索して申し込みができる

<総合サイトで実現したいこと>

幅広い職業体験から選べるようにしたい



プログラムの充実

自分に合った職業が知りたい



自己診断機能

プログラムや企業の様子を詳しく知りたい



企業ページの充実

中高生の声を企業に届けたい



意見箱ページ

企業に参加してもらおうための仕組み

幅広い職業体験を提供するために、多くの企業に参画してもらおうことが必要



<職業体験の提供に関して企業が抱える問題>

- PR・選考の方法がわからない
- 中高生が何をやりたいのかがわからない
- 企業によってはプログラムの組み立て方がわからない



<参加してもらおうための仕組み>

- PR・選考・プログラムのノウハウを提示する
- サイト上で中高生の声を集約して企業に届ける

政策提案したいこと

—総合サイトが中高生と企業の架け橋に—

職業体験の
選択肢が欲しい！

中高生



中高生の将来に
つながる体験を
提供したい！

企業等



**東京都が整備することで、中高生と企業、双方から信頼を得られます
未来をつくる中高生の育成のため、総合サイトの構築を提案します！**



東京都の中高生の可能性を広げられます
実現をお願いいたします！

